

元気いっぱい、夢いっぱい、瞳かがやく“みやぎっ子”

みやぎの学ぶ土台づくりを御活用ください！

宮城県では、幼児期を生涯にわたる人格形成の基礎を培う時期、すなわち「学ぶ土台づくり」の時期として捉え、家庭や幼稚園・保育所・認定こども園などのいずれにおいても充実した幼児教育が行われ、小学校へ入学する時期までに、子供たちが豊かな心情や学ぼうとする意欲、健全な生活を送る態度などを身に付けることを目指して取り組んでいます。

親子でのふれあいのすすめ

子供と直接触れ合って遊びましょう

あやし遊びや手遊びなど大人と直接触れ合って遊ぶことを通して、子供は大人と心が通い合う喜びを感じ、次第に大人の動きに合わせて楽しんで体や手足を動かすようになります。また、子供は、わらべうたなどのゆったりとした調べに安らぎを感じたり、大人と一緒に歌おうとすることで自分の思いを表現したいという気持ちをもつようになります。

子供と一緒に遊ぶときは、テレビを消し、スマートフォンなどの操作をやめて、一緒に遊びを楽しみましょう。



おしゃべり



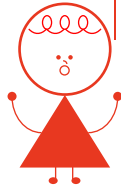
ふれあい



絵本



スキンシップ



運動・食事・睡眠のすすめ

生活のリズムをつくりましょう

子供には、自立に向けて大切にされなければならない生活のリズムがあります。子供にとって健康な生活は、全身を使っての遊びとバランスのとれた食事、十分な睡眠などの生活の流れの中で営まれていきます。また、規則正しいリズムで生活することは、気持ちの安定や積極的な活動へとつながります。

「全身を使っての遊び・バランスのよい食事・十分な睡眠」といった乳幼児期にふさわしい生活のリズムをつくっていきましょう。



生活のリズム



運動



食事



睡眠



宮城県教育委員会ではルルブル（しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ぶで健やかに伸びル）のみやぎっ子「ルルブル」ウェブサイトを開発しています。ルルブルに関することや、ルルブルパンフレットなどを掲載していますので、ぜひ御覧ください。



アニメむすび丸
©宮城県・地プロダクション

心動かされる体験活動のすすめ

子供と外にでかけましょう

自然に触れて遊ぶ中で、子供は全身で自然を感じ取る体験により心が癒やされると同時に、多くのことを学んでいます。自然の大きさ・美しさ・不思議さなどに直接触れる体験は、本来人間がもっている五感を刺激し、好奇心や探究心、豊かな感受性の発達を促し、科学的な見方や考え方の基礎を育てます。

テレビなどを通しての間接体験の機会が増えている今だからこそ、自然と直接触れ合えるように、子供と一緒に戸外にでかけましょう。



おでかけ



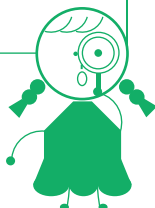
文化に触れる



人と関わる



やり遂げたい



子供の健やかな成長のために

子供が夢中になって遊べる環境にしましょう

宮城県・宮城県教育委員会では、令和3年3月に宮城県幼児教育推進指針みやぎの学ぶ土台づくりを策定しました。幼児教育ポータルサイトでは、パソコン版とスマートフォン版でこの指針の全文を公開しています。

この指針により「元気いっぱい、夢いっぱい、瞳かがやく“みやぎっ子”」を目指し、みんなで幼児教育に関わる意識をもち、各主体間で連携・協力しながら取り組んでいきましょう。



この指針は、家庭・地域社会・教育現場・行政における実践的なガイドブックとして活用してもらえるようなものとしています。

宮城県の将来を担う全ての子供たちをみんなではぐくむため、この指針を活用して、それぞれの立場に応じて、できることから少しずつよいので実践してみてください。

担当：宮城県教育庁義務教育課幼児教育推進班
TEL：022-211-3615
Email：kyoikuy@pref.miyagi.lg.jp
幼児教育ポータルサイト
<https://www.pref.miyagi.jp/site/youikeyouiku-portal-site/>

